

本市GIGAスクールに関する取組について

2024.5.29

第1回仙台市GIGAスクール推進協議会



仙台市教育委員会

「GIGAスクール構想」とは

G I G Aスクール構想

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

GIGA=「 Global and Innovation Gateway for All 」

これまでの
教育実践の蓄積

×

ICT

=

学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの
授業改善

仙台市学校教育情報化推進計画

基本理念

「これからの社会を、たくましく生き抜く力を育む」

～子どもたちが主体的に学び取るために～

基本方針1

児童生徒がICTを適切に使いこなし、生涯学び続けるための資質・能力の育成

基本方針2

教員のICT活用指導力を高めるための支援体制の充実

基本方針3

ICTを活用するための環境整備

基本方針4

学校情報化の推進とICT活用の推進体制構築

仙台市学校教育情報化推進計画

策定日 令和5年3月

期間 令和5～9年度

令和5年度までのGIGAスクール構想に関する取組

【基本方針1】児童生徒がICTを適切に使いこなし、生涯学び続けるための資質・能力の育成

- ・端末を活用した授業づくり
- ・情報活用能力育成の年間指導計画作成
- ・授業支援ツール導入・活用 **(導入済)**
- ・デジタルドリル導入・活用 **(導入済)**
- ・リーディングDXスクール事業参加
- ・生成AIのガイドラン作成 **(作成済)**
- ・情報活用能力検定(Pプラス)の実施

【基本方針3】ICTを活用するための環境整備

- ・ネットワーク強化
- ・体育館Wi-Fi整備
- ・STEAMLab実証事業
- ・指導者用デジタル教科書の配付
- ・VR教材の開発 **(作成済)**
- ・LTE端末の配付 **(導入済)**

【基本方針2】教員のICT活用指導力を高めるための支援体制の充実

- ・ICT活用教員研修(オンライン・訪問・参集)
- ・ICT支援員の導入・運用 **(導入済)**
- ・各種設定支援(オンライン・訪問)
- ・セキュリティ研修の実施 **(実施済)**
- ・校長研修の実施 **(実施済)**

【基本方針4】学校情報化の推進とICT活用の推進体制構築

- ・GIGAスクール協議会の実施
- ・サポートサイトの充実
- ・学校と保護者の連絡ツール導入 **(導入済)**
- ・自動集計ソフト導入・活用 **(導入済)**
- ・MEXCBTの活用
- ・学習eポータル「まなびポケット」の導入・活用 **(導入済)**

令和6年度のGIGAスクール構想の取組（一部抜粋）

仙台市学校教育情報化推進計画【令和6年度行動計画 概要】

資料7～9

【基本方針1】

「児童生徒が、ICTを適切に使いこなし、生涯学び続けるための資質・能力の育成」

(2) 指導・学習のためのICT活用(拡充)

- ①個別最適な学びの推進 デジタルドリルの効果的な活用
- ②協働的な学びの推進 授業支援ソフトウェアの効果的な活用

【基本方針2】「教員のICT活用指導力を高めるための支援体制の充実」

(1) 教員に求められるICT活用指導力等の向上(拡充)

- ①教員の資質の向上 ICTに関する希望研修の積極的な受講
訪問研修の積極的な受講

※○内の番号は、仙台市学校教育情報化推進計画の項目に紐づいているものです。

端末活用目標(1日の授業や授業以外の活用)

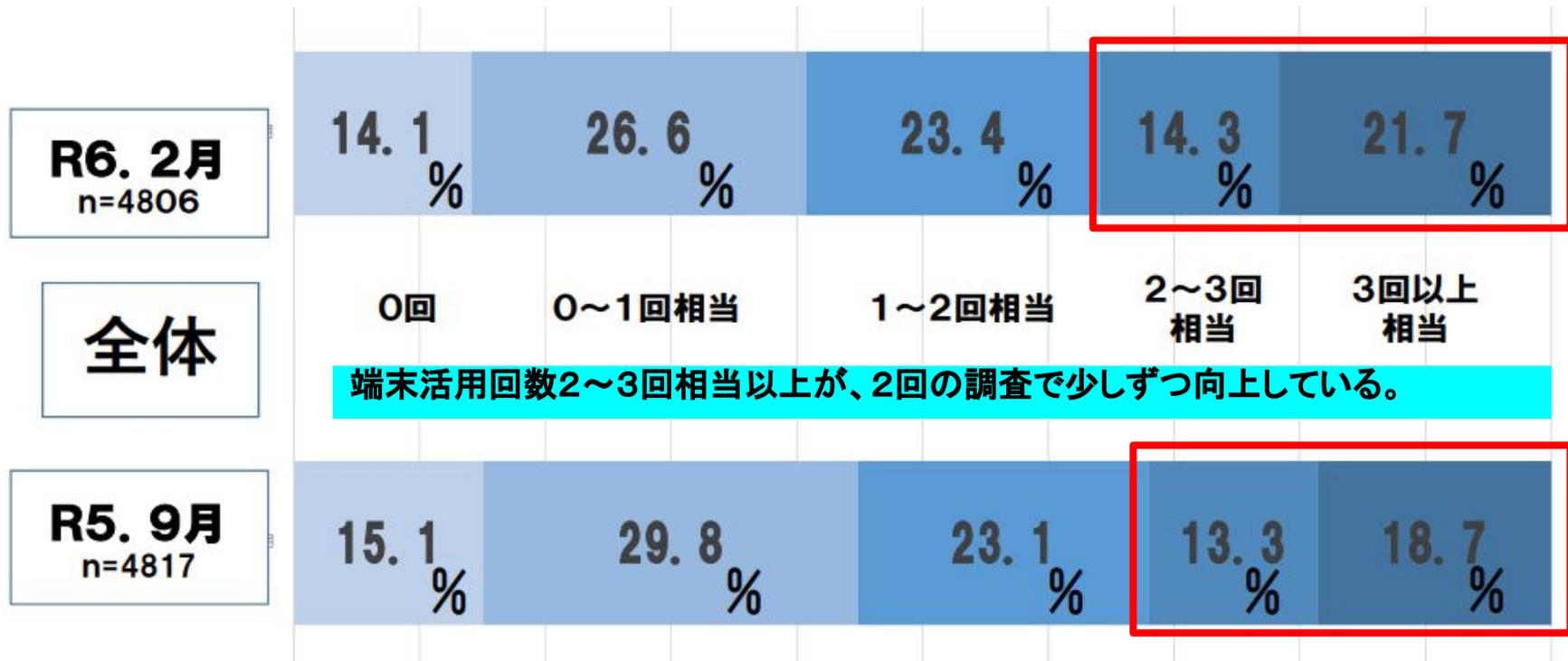
小学校低学年	1日1~3回程度
小学校中学年	1日2回以上
小学校高学年	1日3回以上
中学校全学年	1日3回以上

令和6年度端末活用目標は、高等学校「学校ごとに設定」追加

- ①教員ごとに、週あたり授業時数のうち、端末を活用した授業時数の割合を集計している。
- ②**授業で1日3割程度＋授業以外**で1日1回程度端末を活用できれば、1日3回の目標は概ね達成したことになります。

授業における端末活用回数(全校種)

授業で端末を活用した回数の割合



授業における端末活用回数(小学校2学年ごと)



高学年に従って授業の活用が多くなっている。

授業における端末活用回数(中学校全学年)



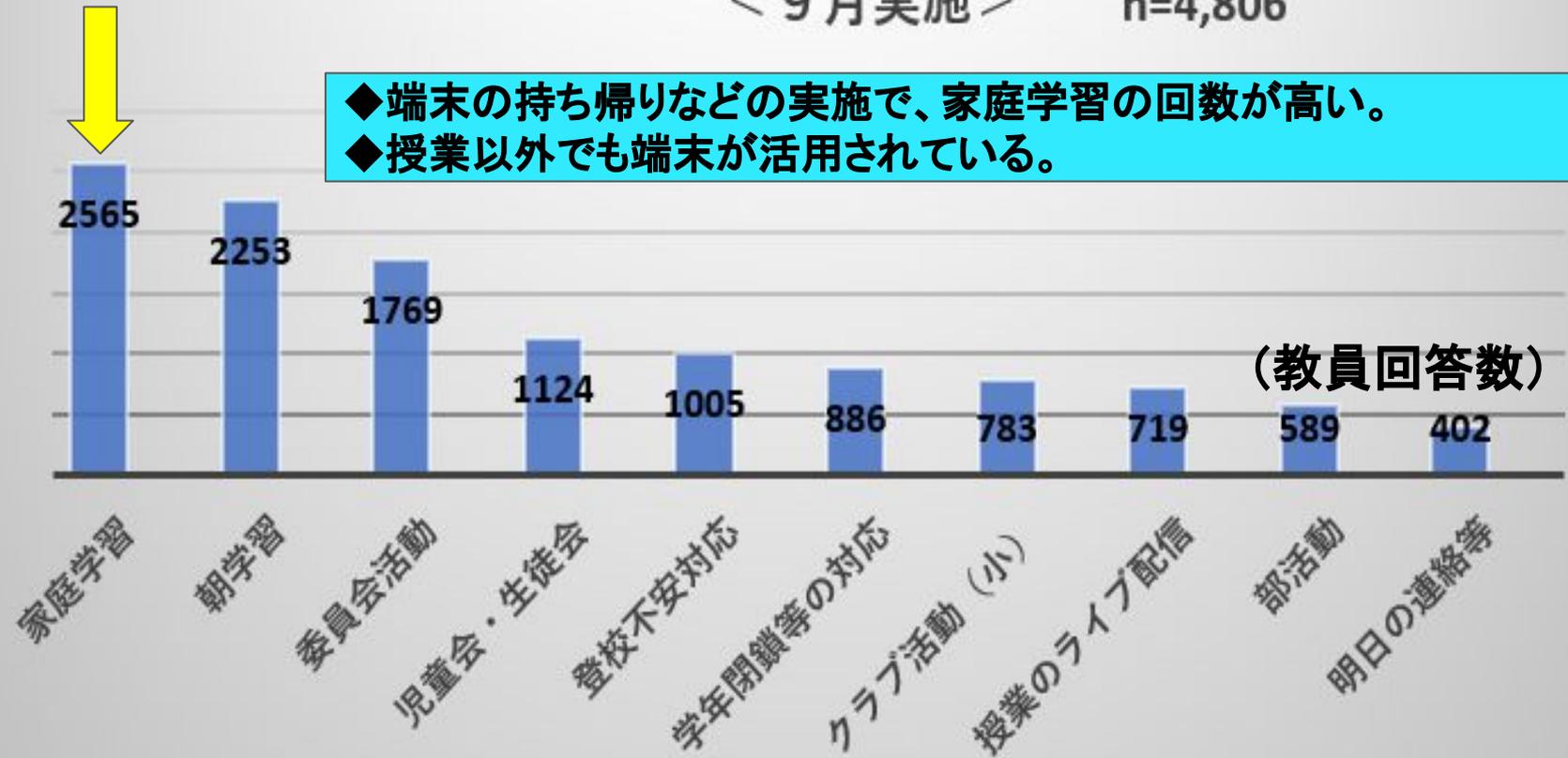
端末活用回数2~3回以上相当を含めても目標にはまだ達していない状況である。

端末活用場面(教員 複数回答)

< 9月実施 >

n=4,806

◆端末の持ち帰りなどの実施で、家庭学習の回数が高い。
◆授業以外でも端末が活用されている。



(教員回答数)

現状について

◆端末活用回数は、全体として増加している。

◆授業以外でも利用されている。
(家庭学習、委員会活動や児童会・生徒会など)

⇒多くの場面で活用することにより、情報化社会で生活するための**情報リテラシー**や**情報モラル**の**知識・技能、態度**を身につけることができると考えている。

課題について

端末活用の場面は、増加している。

しかし、

- ×教員のICT活用に差がある。
- ×ICT活用に苦手意識や不安があり、相談できる場を求めている。

▶ICT端末の「個別最適な学び」「協働的な学び」での活用や使い方について気軽に教職員間で学ぶコミュニティ作りが必要となっている。

これまでも・これからも 「研修の充実」

- ・GIGAスクール推進担当者研修会
- ・GIGAコミュニティサポート事業 など

◆教員同士 ⇒ ICT活用コミュニティ
＜活性化＞

教員が安心して学びあえる

GIGAスクール推進担当者研修会

各学校でGIGAスクール構想を推進するリーダーを育成

令和6年度は、**中学校区(小・中・高・中等教育)**で連携した事例創出

「これからのGIGAスクール構想推進」

各学校の情報交換

・現在の取組 ・課題



例) 保護者連携 小中連携 他

○テーマを決めて協議

○これからのGIGAスクール構想推進のために、
やってみたいことを考える

各校が設定したテーマ

- 情報活用能力の育成
- 小中連携
- 保護者連携
- 校務改善

GIGAコミュニティサポート事業

GIGAコミュニティサポート事業(GIGA コム)は、様々な場面でICT活用に対する悩みを抱えている教員をサポートしながら、教員同士が学校・校種を越えて、相談・助言・意見交換ができるコミュニティづくりを推進することで、仙台市のICT教育を支える人材「GIGA JIN(仮)」を育成していきます。

